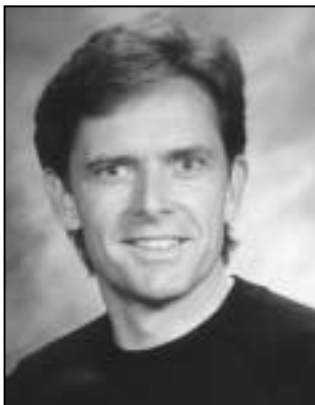


CLINICAL Impressions®

アップデート版 No.16

ORMCO インスパイア! Part1



Dr. Tracy

超審美的矯正：他医院との差別化

この論文は米国Ormco社Clinical Impressions 1999 NO.3に掲載されたものです。

ステファン・トレーシー、D.D.S., M.S.
カリフォルニア州アップランド

ビールのコマーシャルで、ふたりの有名なスポーツマンがある特定ブランドのビールのどこが好きかについて言い争っている。

「美味さだ!」... 「切れだ!」
「美味さだ!」... 「切れだ!」

要は、あなたの見解次第で両方とも正しいということである。しかしビールのコマーシャルが矯正と何の関係があるのか？ まあ聞いてほしい。そうすればわかるから。

数年前、Dr. ジム・ヒルジャーズは「超効率的矯正」という言葉を作り出した。これは、ケースの成功のために患者の協力を依存する方法から考えを変える大きな原因となった。ヘッドギアや可撤式のファンクショナル・アプライアンスはまだ矯正医の装備の中にあるかもしれないが、われわれの多くはそれらを超効率的と分類するには抵抗がある。必然的に、多くの開業医がJasper Jumper、Bite Fixer、Eureka Springといった、あらゆるタイプのHerbst (Dentaurum, Inc.の登録商標) アプライアンスやPendulumファミリーのアプライアンスを使用することが多くの開業医にとって普通のものとなった。多くの人々がパレードの先頭車(もっと正しく言えば貨物列車)に飛び乗った。また今ではセルフライゲータリング・ブラケットがあるが、それは別のレベルの超効率的性を提供するようだ。

さて、もしわたしがジムから学んだものがひとつあるとすればこうということである。すなわち、みんながひとつの方向を見ていると思われれば、たぶんそういう時こそ別の方向を見る好機である、ということである。

話が陳腐になるが、アイスホッケーの伝説的人物ウェイン・グレッツキーが、どうして他の選手よりもすぐれているのかと尋ねられた時の

“みんながひとつの方向を見ていると思われれば、たぶんそういう時こそ別の方向を見る好機である、ということである。”

言葉、「誰でもバックのあるほうに滑っていくが、わたしはバックが行こうとしている方向に滑る。」は復唱する値打ちがある。

そこでそれを念頭に置いて、少しの間だけ超効率的の貨物列車から飛び降りて、違う方向を見るべきだということをお勧めしたい。(高品質の結果を無視しているのではない。高品質は自明のこととしてとらえよう。) 失礼だがわたしは、今日の矯正でわれわれは効率にこだわるあまりに、もっと重要なこと、すなわち審美的を見逃しているのではないかと、思う。

みなさんを怒らせる前に言っておきたいのだが、わたしは超効率的なノンコンプライアンスのアプライアンスが重要でないと言っているのではない。それらは重要である。わたしが言わんとすることは、それらは矯正医にとってもっとも重要なことというフィルターを通してみたチャレンジに対する答えであって必ずしも患者にとってもっとも重要というわけではない、ということである。

確かに患者は治療が患者にとって都合が良いことを望んでいるし、治療ができるだけ早く終わることを望んでいる。また、われわれが超効率的と考えるアプライアンスの多くは、ヘッドギアのような従来審美的でないアプライアンスに代わるものとして開発されたことも確かである。しかしもしあなたが自分の考えをやめて患者の目を通して見るならば、究極的に患者は治療が都合よく、早く終わって、痛みがないことを望んでいるだけでなく、治療が審美的であることを望んでいることがわかるだろう。

前述のビールのコマーシャルを今日の矯正に何が一番重要かについての興奮した論争に切り替えてみよう。テーブルの片側には「効率だ!」と熱意をこめて叫ぶグループ、反対側には同じように熱意をこめて「審美だ!」と叫ぶグループ。

「効率だ!」... 「審美だ!」
「効率だ!」... 「審美だ!」

失礼だが、わたしはわれらが超効率的の輩ジム・ヒルジャーズがテーブルのわたしの側について「審美だ!」と叫ぶだろうと思わざるをえない。

Dr. ステファン・トレーシーは、テクノロジーとチームワークで診療を成功させるには革新的でありながら慎重な矯正治療法と人間の精神の一見限界のない潜在力とを組み合わせることがよいと信じている。彼は活動的な市民リーダーとして、貧しい人々の歯科治療のための募金集めの5kランを創設し、ニーズの高い教育プログラムを支援する「LEAP for Excellence」の委員をつとめ、チャリティー募金運動「愛の翼」を創設した。何が可能かを貪欲に追求し、鉄人トライアスロンでの灼熱の溶岩原横断、レーニア山頂上登攀、アマゾンの110マイルトレッキングを成し遂げた。カリフォルニア州アップランドで開業している。ロマリンダ大学で矯正学のD.D.S.とM.S.を取得し、1995年度のインストラクターに選ばれた。現在同大学の助教授である。多くの矯正関係出版物の記事を執筆し、13カ国で講演をしたことがある。



**“ 新世紀の矯正診療の成功は、
何よりもまず審美性に固執することであると
全面的に確信している。 ”**

何がわたしにこの審美の呪文を確信させるのだろうか？ ちょっとした話をしよう。昔むかし、カリフォルニア州は美しいアップランドなる土地に（そう、ユークリッド通りとF通りの角である）誰もがまずまずはやっていると考えるひとりの矯正医がいた。超効率的矯正治療に確信をもちそれに傾倒しているにもかかわらず、この叡智を求めるジェダイの騎士は患者の期待に超効率性以上のものがあることに内なる苦しみを抱いていた。そこで究極の真実を追求して、彼は患者にひもつきでない選択を与えることに決めた。

「ミニメタルブレースで治療できますか？」... 「もちろんできます。」

「ゴールドブレースは？」... 「お望みなら。」

「色の種類は？」... 「まさに、バーチャルレインボーカラーです。」

「クリアブレースは？」... 「もちろん。追加料金はかかりません。」

驚いたことには、いったん費用を無関係にすると、少なくとも患者10人のうち9人は年齢に関係なくクリアブレースを選び、患者は急速に増え始めた。

矯正患者は常に自分を最高に見映えよくしたい。たいいていはそれがなぜ彼らがまず最初にわれわれのところに来るかという理由である。しかし追加費用と治療期間の延長とクリアブラケットでは結果が劣るなどというぞっとするものを見せられたら、彼らは究極の審美性どころではないものを無理やり承知させられてしまう。

事実、1980年代初期に最初のクリアブラケットが導入されて以来、事情は大きく変わってきた。ブラケットデザインも材料もこの20年で徹底的に改善され、メタルブラケットとクリアブラケットの区別はほとんどなくなっている。これは患者にもわれわれ自身にも何回もした話であるが、われわれは変化に気がつくことができなかった。ますます多くの患者がクリアブラケットを選んでおり、アポイントメントの間隔がますます長くなっていることにわれわれは気づいていなかった。全体の治療期間を延長することなくクリアブラケットによって容易に高品質の結果を生み出すことができることに気づいていなかった。全般的にいえば、われわれは患者に彼らが望んでいるもの、すな

わち治療後だけではなく治療中も見映えがよいというチャンスを与えることによってわれわれの診療を拡大する好機があったことに気がつかなかった。

当然、ほとんどの大人は選択肢を与えられたときにクリアブラケットを選ぶことを誰もが期待するが、子供もそうだろうか？ 色のついたリガチャーがあれば、その通りである。色つきリガチャーのついたクリアブラケット？ いったい何事だろうか？

何事かという、こういうことである。追加料金なしに選択肢を与えられたとき、ほとんどの場合患者は、われわれは当然だと思うが、もっとも審美的なクリアブラケットを選ぶだろう。しかしここに落とし穴がある。もっとも審美的とはあなた次第でもなければわたし次第でもない。それは患者次第である。ブレースについて言えば、美は見る者の目の中に存在する。そこでわたしが超審美的矯正と呼ぶものはこうである。審美とは、何であれ患者が審美と言うものが審美である。以上が結論である。

セルフライゲーティング・ブラケットについてはどうかという質問がありだろうか？ 正直に言って、今の時点ではわたしにとって少々説得が困難である。大人にはそれは十分クリアでない。子供には、色つきリガチャーがあれば有効であろう（それは目的のほとんどを打ち消す傾向があると認めなければならない）。摩擦の少ないパッシブなセルフライゲーションがこれからの傾向であることは疑われないが、わたしにとっては、患者の目から見て審美的になってきた時だけに生きてくる。

そこでわたしは、この「超審美的矯正？」の話でどこに行くのか？ わたしは新世紀の矯正診療の成功は、何よりもまず審美性に固執することであると全面的に確信している。繰り返す言う。わたしは新世紀の矯正診療の成功は、何よりもまず審美性に固執することであると全面的に確信している。また、治療の様式に関してだけではない。経験豊かな矯正医は審美をオフィスデザインや外見やロゴやパンフレットやユニフォームや広告（そう、広告に）など自分の診療業務のあらゆる部分にむらなく取り入れる。また同様に印象的な感覚経験、新たに生まれ変わりたいという者たちにとって不可欠な、他には負けない強みを提供するユニークな経験を作る音や場面や照明を取り入れる。Clinical Impressionの次号では、わたしが「すべてにわたって審美的な」診療について語る時にドクターたちが示す多くのよくある懸念をとりあげ、わたしの診療の拡大を生み出したマーケティング哲学を分かち合い、われわれが期待する効率を維持しながら、患者に彼らの望むものを提供する手段となる、新しい審美材料技術のいくつかを説明する。

高い臨床効率... 信頼できるディボンディング

インスパイア!

審美性における第一の選択は性能の選択です。

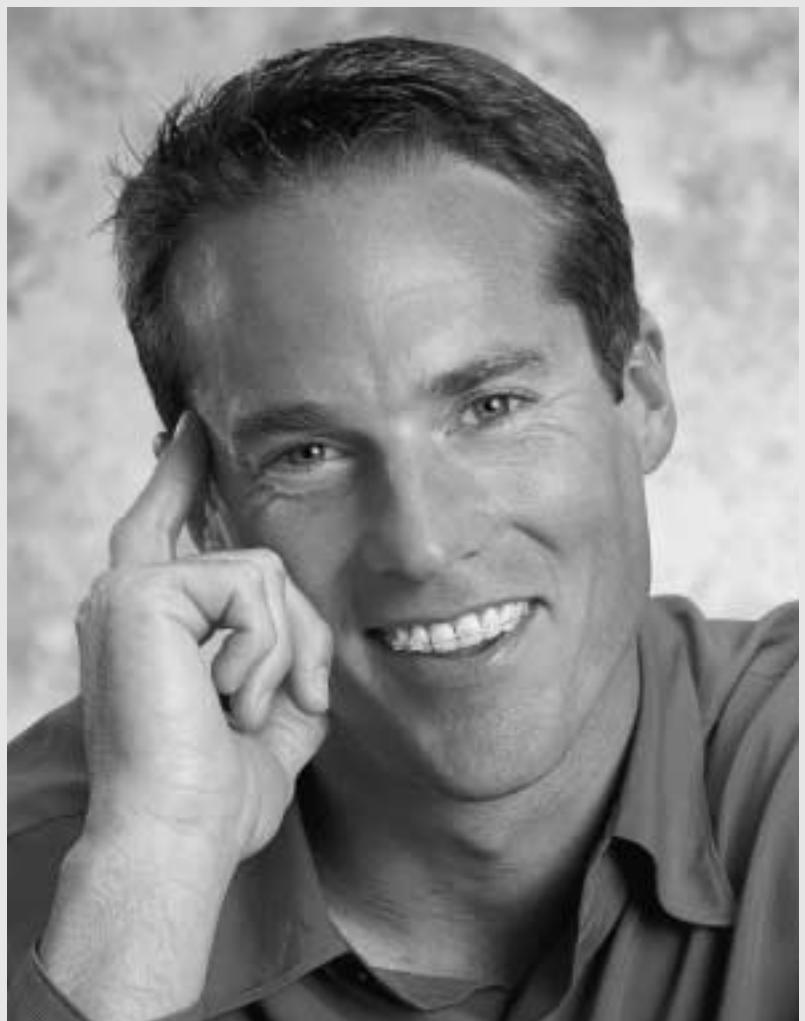
1年前のオームコと“A”カンパニーの合併により、2社のエンジニアリングチームが協力してエンジニアリングの才を結合し、新しいデザインの矯正ブラケット、唯一の澄みきって透明なサファイアブラケットを作り出しました。科学的に不活性な純粋単結晶サファイアでできたインスパイア! は、汚れを吸収したり、シミがついたり、曇ったり、変色することはありません。治療中ずっとその透明度を保ちます。改善された熱処理は材料の強度を維持して信頼性を確固たるものにし、破折に対する抵抗は非常に強くなりました。

インスパイア! はタイウイング・ジオメトリーの変更によりウイングは結紮しやすくなり、強度が高まってウイングが破折する可能性がかわめて低くなりました。アンダータイウイングスペースが広いのでブラケットの寸法を大きくしなくてもダブルリガチャーができます。表面研磨の改善によりコーナーとエッジの丸みにすぐれ、患者にとって快適性が高く、ワイヤーのバインディングは最小限になっています。

インスパイア! は純粋のA+ ストレートワイヤー、真のツインアプライアンスです。それは、治療の精度をそこなわずに歯列弓内で他のどのストレートワイヤーブラケットとも一緒に使うことができることを意味します。メカニカルボールベース™¹は従来のステンレススチールメッシュと同等の信頼性のある安定した接着強度があります。特別なプライマーや接着材は不要です。**インスパイア!** はオームコ社の特許取得済のフェイスペイント™²システムを組み込んでいます。識別がし易いようにデザインされ、またブラケットの位置決めにより便利な十時線効果をもたらします。

インスパイア! のディボンディングは容易です。ブラケットの咬合側と歯頸側を専用インストルメントで挟み、咬合側にひねれば外れます。そのメカニカルボールベースは安全のために歯の上にクリーンな接着剤の層を残しエナメル質への損傷を避けるようにデザインされています。

ついにひとつのアプライアンスに審美性と機能が結合しました。インスパイア! にはロス・処方の上顎用5x5と下顎用3x3があります。スロットサイズは.018と.022があり、犬歯と小白歯にはフックつきとフックつきでないものがあります。



¹ 米国特許 NO. 5,071,344; 5,197,873

² 米国特許 NO. 5,074,783



オームコ ジャパン サイブロン・デンタル株式会社

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-29-24 TEL 03-3945-0065 FAX 03-3947-0065